

令和7年第12回大仙市教育委員会定例会議事録

令和7年第12回大仙市教育委員会定例会を令和7年12月24日(水)午後3時30分から大曲庁舎3階大会議室において開催した。

出席者

教育長	伊藤雅己
委員	小笠原晃
	玉井有紗
	伊藤晴通
	伊藤勝良
	高橋緑

説明員	事務局長	佐々木泰宏
	次長兼教育総務課長	小松大
	次長兼教育指導課長	菅原清三
	施設管理課長	高橋隆伸
	学校給食総合センター所長	佐藤マキ
	次長兼生涯学習課長	八嶋洋晃
	次長兼総合図書館長	伊藤ひろみ
	次長兼総合市民会館長	品川雄喜
	参事兼教育研究所長	牛木豊
	花館公民館長	枝川元
	大綱交流館長	遠藤隆伸
	中仙公民館長	大阪文博
	協和公民館長	阿部成吾
	南外公民館長	堀井みわ子
	太田公民館長	太田敬

書記	教育総務課参事	大釜弘靖
----	---------	------

付議案件

- (1)議案第50号 第二次大仙市学校規模適正化推進計画案について
(教育総務課)

伊藤教育長

皆様、お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日は、全員御出席です。書記に、大釜参事を指名します。

ただいまから、令和7年、第12回大仙市教育委員会定例会を開催いたします。

前回定例会の議事録は、ただいま、委員の皆様からの署名をもって、承認していただきました。

この時期にしては気温が高く、例年に比べて積雪が少ない毎日が続いております。今月に入りインフルエンザの流行も落ち着いてきた感があり、クマの目撃情報も少なくなり、学校は落ち着いた状況の中で冬休みを迎えられそうで一安心しております。

それでは、報告の1ページを御覧ください。

最初に学校教育関係です。小・中学校は、12月26日から1月13日までが冬季休業となります。教職員の業務改善のために、県教育委員会からの要請を受けて、本市では毎年12月27日から1月4日までの期間を学校閉庁日としております。今年度は、ちょうど年末年始休暇と重なりました。

特色ある教育活動については、報告のありました各種大会等での児童生徒の活躍を記載しております。新しい大会が開催されており、子どもたちの活躍の場も広がってきているように感じております。秋田県学習状況調査が12月3日に小学校、翌4日に中学校で行われております。結果は、1月末以降にまとまる予定です。

市長部局等との連携行事については、記載の通り出席しております。高校生教職体験プログラムは、秋田大学地方創生センターの事業で、教員という職業に興味関心がある高校生が、教職に関する講義や演習で理解を深めるとともに、教員のアシスタント等として実際の教育活動に参加することにより教職への憧れや学ぶ意欲を高めることをねらいとした事業です。県南地域は秋田大学横手分校が主管し、実地体験は、横手市と湯沢市、本市の小・中学校で3日程度行っております。本市では、3小学校に3人、6中学校に14人の高校生を受け入れております。本事業を通して教員志望者が増えることを期待しているところで

す。

安全・安心について、インフルエンザ等の流行により5校で学級閉鎖等の措置をしております。

その他として、市議会定例会での教育委員会関係の一般質問答弁を配布しておりますので、後ほど御覧ください。

以上で私からの報告を終わります。

次に、各課・所・館から行事・事務事業報告をしていただきます。

まず、教育総務課長、お願いします。

教育総務課長

それでは、2ページを御覧ください。

1番の「第4回大仙市議会定例会」についてであります。先週12月18日に閉会いたしました。教育委員会事務局関連の令和7年度一般会計、特別会計補正予算案及び条例改正案等、全て承認をいただいております。

また、最終日に開催されました大仙市議会議員全員協議会におきまして、東部3地域それぞれの学校再編検討委員会からの答申を受けて素案から案に格上げいたしました「第2次大仙市学校規模適正化推進計画」について了承をいただいております。

このことにつきまして、この後、付議案件の中で御説明させていただきます。教育総務課は、以上です。

伊藤教育長

次に、教育指導課長、お願いします。

教育指導課長

教育指導課は、5項目記載しております。

そのうち、2項目について御報告申し上げます。

1の「秋田県学習状況調査」であります。12月3日に小学校で、12月4日に中学校で実施しております。なお、太田中学校はインフルエンザによる学年閉鎖となったことから、8日に実施しております。

5の大仙ふるさと博士育成事業「冬の特別企画」であります。今年度も冬休み中に企業見学、農業体験DAYとして計画しました。4つの事業所等から御協力をいただき、子どもたちが様々な見学や体験活動をさせていただきます。

教育指導課からは以上です。

伊藤教育長

次に、施設管理課長、お願いします。

施設管理課長

施設管理課からは、業務委託の関係であります。

記載の西仙北小学校と南外小学校の高圧受電設備改修工事及び大曲中学校と学校給食総合センターの空調設備改修工事に係るそれぞれの実施設計業務委託であります。記載のとおり完了あるいは完了予定となっております。

以上でございます。

伊藤教育長

次に、学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長

学校給食総合センターは、記載の1項目となっております。

「大仙市学校給食協会令和7年度第3回理事会」が12月12日に開催され、理事とともに市内4センターの給食センター所長が出席しております。

総合センターからは今年度の給食事業の状況について、各センター所長からそれぞれのセンターの状況について、理事のみなさんに報告しております。

学校給食協会事務局からは、11月までの業務執行状況について、計画どおり、順調に事業が進められている旨の報告がありましたので、引き続き、衛生管理の徹底と給食事故の未然防止について、お願いしております。

学校給食総合センターからは、以上です。

伊藤教育長

次に、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長

生涯学習課の行事は記載の6項目ですが、2項目を御説明いたします。

はじめに、2番、12月4日に開催の「第42回東北将棋大会並びに第20回大仙市民交流将棋大会事後検討会」ですが、先月3日に開催されました将棋大会の事業報告、決算・監査報告、それから大会運営で見た課題の洗い出しを行い、来年度への引継ぎ事項として情報共有を図っております。

次に、5番、12月15日に開催しました「大仙市芸術文化協会理事・支部長会議」ですが、来年2月4日(水)、仙北ふれあい文化センターを会場に「第20回大仙市芸術文化賞表彰式」の開催を予定しておりまして、会議では、今年度表彰となる候補者の説明や、選考方法等について話し合いが行われております。今年度の表彰者につきましては、今後開催される選考委員会で決定し次第、改めて表彰式の内容と併せて報告させていただきます。

生涯学習課からは、以上でございます。

伊藤教育長

次に、総合図書館長、お願いします。

総合図書館長

総合図書館では3項目記載しております。

そのうち3項目目の「クリスマスおはなし会」について御説明いたします。

令和7年最後のおはなし会でもありました「クリスマスおはなし会」は12月13日(土)大曲図書館の3階視聴覚室がいっぱいになるほどの48人に御参加いただきました。大曲図書館ボランティア、おはなしの会のみなさんによるエプロンシアター「アンパンマンとばいきんまん」、絵本の読みきかせ、紙芝居、人形劇「赤ずきんちゃん」などを親子一緒に楽しんでいただきました。

帰りには手作りのクリスマスカードなどプレゼントを参加者全員へお渡しし、大変喜んでいただきました。

総合図書館からは、以上です。

伊藤教育長

次に、総合市民会館長、お願いします。

総合市民会館長

総合市民会館は、3項目記載しております。

1番につきましては、大仙市音楽祭2025として「第10回大いなる秋田大演奏会」が行われ、会場は900名を超えるお客様で埋め尽くされ、盛大に開催されております。

また、3番につきましては、人気落語家の「春風亭一之輔さんの独演会」を開催し、1、2階席満員のお客様に楽しんでいただいております。

総合市民会館からは、以上です。

伊藤教育長

次に、花館公民館長、お願いします。

花館公民館長

花館公民館は、7項目を記載しております。

1番になります。

12月2日に「サケの捌き方教室」を開催しております。今年は、川の増水により、大変厳しい中での漁でしたが、組合の御協力により無事、教室を終了しております。生後4か月の子供をおんぶしながら参加した方は、地元の川に戻ってきたサケを、子どもにも食べさせたいとの思いから5年ぶりの参加となりました。講師より、サケずしの作り方も教えていただき、花館地域の味を残すため、調理方法を教える活動を今後も続けていきたいとお話しされておりました。

花館公民館は、以上です。

伊藤教育長

次に、神岡中央公民館長は欠席ですので、生涯学習課長お願いします。

生涯学習課長

神岡中央公民館は4項目記載しておりますが、4の「おもしろ講座」について説明いたします。

12月17日開催の「おもしろ講座」は、秋田市の競技かるたサークル「秋田このはな会」代表の平野智子氏に、「小倉百人一首の世界」と題しお話をいただき、29名が受講しました。平野氏の講座は受講生からのリクエストが多く、

昨年度に続き 2 回目となりました。小倉百人一首から何首か解説を交えつつ紹介頂き、一見難解な和歌も、内容を読み解いていくと、当時の人も現代と同じようなことを感じたり悩んだりしていたことがわかりました。今年、競技カルタを題材としたドラマが放送されたこともあり、興味を持つ子供たちも増えてきているとのことですので、伝統文化を受け継いでいってほしいと感じました。

神岡中央公民館からは、以上です。

伊藤教育長

次に、大綱交流館長、お願いします。

大綱交流館長

大綱交流館は、3つの項目を記載しております。

はじめに、項番2のいきいきカレッジ「消防団音楽隊クリスマスコンサート」につきましては、12月13日(土)に大綱ホールで開催しております。オープニングの「ハローファイヤーマン」から始まり、クリスマスソングメドレーや昭和の歴代ウルトラマンの主題歌メドレー、70年代レコード大賞曲メドレー、アンコールに「第九」をロック調にアレンジした「第九ブラスロック」を演奏し、会場は大いに盛り上がりました。終演後、隊員がロビーで来場者を見送った際には、隊員と握手をし、涙を流しながら「感動しました」と帰宅する方が複数おりました。隊員からは、「非常に楽しかったので、来年も開催してほしい」という言葉があり、素晴らしいクリスマスコンサートを開催することができました。

次の項番3の「刈和野大綱引保存会組織委員会並びに関係機関との協議会」につきましては、国指定重要無形民俗文化財「刈和野の大綱引き」の開催が来年2月10日(火)に正式決定し、準備から綱の奉納までの安全対策などについて協議を終えております。

大綱交流館の説明は、以上でございます。

伊藤教育長

次に、中仙公民館長、お願いします。

中仙公民館長

中仙公民館は、2項目記載しております。

2番の「絵本となかよし会」ですが、12月12日にドンパルで親子6名の参加で開催しました。読み聞かせボランティアによるクリスマスにちなんだ絵本の読み聞かせや、うたにより参加者と一緒に約1時間楽しい時間を過ごしております。

中仙公民館は、以上です。

伊藤教育長

次に、協和公民館長、お願いします。

協和公民館長

協和公民館では、11項目記載してございます。

6項目目ですが協和境地域、協和公民館荒川分館の「防災訓練・救命講習」を行っております。こちらは11月7日にクマの出没により中止の「唐松神社防火訓練・文化財防火訓練」の代替事業として行っております。こちらの参加者の方々から、唐松神社防火訓練の他に、毎年定例で実施したいとの要望をいただいております。

記載はありませんが、協和公民館荒川分館婦人学級の「生け花教室」を12月26日に実施する予定となっております。

協和公民館からは、以上です。

伊藤教育長

次に、南外公民館長、お願いします。

生涯学習課長

南外公民館は、6項目記載しております。

2番の「南外小学校そば打ち体験」は、12月9日に5年生16人、5番の「南外中学校そば打ち体験」は、12月19日に1年生10人が参加いたしました。この事業は、地域学校協働本部の事業として学校のコーディネーターが中心となって実施し、公民館もお手伝いしております。小学生は、初めてのそば打ちに戸惑いながらも、グループ内で交代しながら体験を楽しんでおりました。そばが茹で上がると、自分たちで切った麺の太さに驚きつつ、そばを味わっておりました。

南外公民館は、以上です。

伊藤教育長

次に、仙北公民館長は欠席ですので、生涯学習課長お願いします。

生涯学習課長

仙北公民館は、4項目あげております。

2つ目の「親子で Book&Cook」ですが、4歳児から小学校低学年の児童とその保護者を対象とした、クッキングと読み聞かせを合わせた事業であり「クリスマスを楽しもう」というテーマのもと、今回は簡単にできるパン作りに挑戦してもらいました。5組11人の参加があり、おばあさんとの参加が2組ありました。時間のかかる生地が発酵までは講師の先生に事前に準備していただき、当日は、クリスマスにちなんだ形を作り、焼き上げ、装飾、ラッピングをするというもの

でした。焼いている間に、図書館ボランティアの「そよかぜ」さんから、読み聞かせや手遊びをしていただきました。今回は、パン作りで難儀な生地づくりを予め先生にお願いしましたが、その生地を作る時のコツなども伝授していただき、簡単に家でもチャレンジできるよう教えていただきました。参加者が年長さんと1年生だったため、後半はちょっと疲れた様子がありましたが、焼きあがったパンをみると、疲れは一気に吹き飛んだようでした。「楽しかった。」「早く食べたい。」と言いながら、達成感でいっぱいの様子でありました。

仙北公民館は、以上です。

伊藤教育長

最後に、太田公民館長、お願いします。

太田公民館長

太田公民館は、6項目掲載しております。

6番「ディンプルアート体験教室」について御説明いたします。

こちらは令和5年度から太田公民館で開催している事業で、今年は16名が参加しています。講師は秋田市在住の麻木裕子さんで、2023年の全国インストラクター作品展で最優秀賞、2024、2025年の作品展で創作大賞を受賞されるなどご活躍されております。秋田市、能代市で教室を開いています。

ディンプルアートとは、車のフロントガラス廃材から生まれた透明なエコ絵具「ディンプルカラー」を使います。「ディンプル」とは「えくぼ・さざ波」という意味で、乾くと独特な艶や光沢と共に、ゴルフボールの表面のような凸凹模様や波のような模様が全体に現れ、スタンドグラスのような美しいアート作品になります。リサイクル技術から生まれた環境に優しいアートで、透明な素材に描くと光を通しキラキラ輝き、誰でも簡単に楽しめる人気です。今回は講師が用意した「チューリップ」の下絵に色付けをしました。最初は慣れない作業に苦戦していましたが、段々と慣れていくと、色々な色を使いそれぞれの好みに塗り上げていきました。開始から約2時間かけ、参加者は自分の作品を作り上げました。

太田公民館からは、以上です。

伊藤教育長

ありがとうございました。

各課・所・館から行事・事務事業報告をしていただきました。

ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いいたします。

各委員（特になし）

伊藤教育長

よろしいですか。それでは、これで教育長報告を終わらせていただきます。

次に、付議案件に入ります。

議案第50号「第二次大仙市学校規模適正化推進計画案について」を議題といたします。教育総務課長から説明をお願いします。

教育総務課長

それでは、議案第50号「第二次大仙市学校規模適正化推進計画案」について御説明いたします。

資料7ページを御覧ください。

先月の本定例会協議会におきまして、学校再編の進捗状況について委員の皆様にご説明をいたしました。12月18日に開催されました議員全員協議会におきましても、添付しております資料ナンバー2-1から2-5により説明をし、了承をいただいております。

これをもちまして、本日、議案として提出し、ご承認いただくことにより、本計画として策定することといたします。

以上、御説明申し上げましたが、よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

伊藤教育長

これまで色々な場で、委員の皆様にご説明してまいりましたが、ただいまの説明につきまして、皆様から御質問等ございませんでしょうか。もちろん御意見でも構いません。

議決の後の今後の動きについて説明してもらえますか。この後どういう形で外に出ていくのか。

教育総務課長

はい。本日、御了承をいただいた後の動きですが、今まで素案として公表しておりましたこの計画ですが、まずは本計画としてホームページ等にて公開をすることになります。

その後の学校統合の流れということになりますが、この資料2-1の9ページを御覧いただきたいと思っております。

地域内で小学校を統合します中仙地域、太田地域につきましては、令和9年4月の地域内の小学校の開校に向け、開校準備委員会を設置し、様々な検討を進めていくということになります。

そして、令和8年3月、来年3月の定例の市議会におきまして、両地域の小学校の統合に係る条例改正という動きになっていきます。

その後、中仙、太田各地域の中で検討を進めていきまして、保護者説明会等を各地域で適宜開催していった後、来年11月以降、清水小学校の閉校式、そして太田の3小学校の閉校式という流れになっていきます。

そして、令和9年4月、中仙小、清水小の統合式、そして太田3小学校の統合後の開校式という流れになっていきます。

それから、今のお話は中仙、太田地域内のお話ということになりますが、東部3地域の全体的な計画の流れということになりますが、令和8年度からは、用地選定、用地取得というような流れになっていきます。そして、令和10年度に敷地造成と実施計画、11年、12年、13年で建設工事というような流れになっていきます。

皆さんに配布しております資料ナンバー2-5、こちらの23ページを御覧いただきたいと思います。

スケジュールとしてはこのような形で今後進めていくということになります。

委員の皆様からも色々な機会で地域の方々からお話があるということも考えられますので、色々な場面でこの計画についてお話をしていただきたいという風に思います。

どうかよろしく願いいたします。

伊藤教育長

ありがとうございました。

この資料の2-5ですが、現在のところ、表紙に案がついていますが、この案を取って公表するということですね。正式な計画に格上げされるということで、この後はこれに基づいて着々と前へ進めていくというような日程のようです。

したがって、今日の議決が大変大きい意味を持ちますので、よろしくお願いいたします。

では、改めて何か御質問等ございませんでしょうか。

小笠原委員

はい。色々これまで、準備していただいてありがたいと思います。

大変よくまとめられていると思います。それで、本当に細かいことで申し訳ないのですが、文言の統一について、例えば資料の11ページに文部科学省と書いてありますが、その前の3ページの辺りが文科省という省略形で使われておりますので、こういう文言の統一はされた方がいいのではないかなと思いました。

それから、文章全体が「です・ます調」なわけですが、引用の関係もあるのか、ところどころ「だ・である調」のところもあり、引用であれば仕方がないかなと思いますが、そういうところも少し統一していただければよろしいかなと感じたところでした。以上です。

伊藤教育長

はい。ありがとうございます。表記上のことについて御意見いただきましたので、しっかりもう一度確認をした上で、最終のものとして公表したいと思います。事務局の方でもよろしくお願い致します。他にはいかがでしょうか。

はい。どうぞ。

伊藤勝良委員

すみません。先ほど説明してもらった資料2-1の9ページですけれども、閉校式と開校式の間に移行の期間について教えてください。

11月から9年2月くらいに閉校して4月開校という記述かと思うんですけれども、3月から開校式の4月までの間どのような動きを想定しているか説明をお願いします。

教育総務課長

はい。まず、閉校式の実施のスケジュールと言いますか時期については、各小学校の方で時期は決めていただくというようなことに基本的にはなっていますので、11月から2月という幅を持った形で表記をしているということになります。

それから、3月いっぱい元々の学校の方で授業はそのまま行っていくことになりまして、3月中に引っ越しをして、4月に新しい学校での開校式、新年度を迎えるという形の想定ということでこのように記載しているというところであります。

伊藤教育長

おそらく4校ありますので、どこかと重ならないようにとか、うまく日程調整しながら進めていくことになると思います。

他にはいかがでしょうか。

はい。どうぞ。

玉井委員

今の質問に関連しますが、卒業式は元々の学校で行うことになるのかということと、新年度の入学説明会はどこで行う形になりますか。

佐々木事務局長

卒業式は、今の想定としては今ある小学校で、やはりその校舎で卒業していただきたいと考えております。

それから入学説明会ですけれども、こちらについてはまだ検討しておりませんが、それぞれの小学校でやっていただくか、あるいはどこか1か所に集まってみんなで同じ内容を一齐に説明するかについては、この後も協議しながら詰めていきたいと考えております。

伊藤教育長

基本的には、豊成小学校、豊成中学校の時のものがありますので、おそらくそ

れを踏まえて、当然その日の反省もあると思うので、それらを踏まえた上で具体化していきたいと思っております。

他にはいかがですか。

各委員（特になし）

伊藤教育長

よろしいでしょうか。それでは、本案は説明のとおり承認することに御異議ございませんか。

各委員（異議なし）

伊藤教育長

ありがとうございます。それでは、御異議なしと認め、本案は説明のとおり承認することとします。

次に、次第の5番、その他に入らせていただきます。

1月の定例記者会見で発表する事業について、教育指導課、生涯学習課から説明させていただきます。はじめに、教育指導課長をお願いします。

教育指導課長

1月の定例記者会見で発表する事業について、御説明いたします。

資料ナンバー3の1ページになります。

令和6年4月26日に締結された大仙市立大曲中学校と台湾・新北市立漳和國民中學との姉妹校提携に基づき、両校の相互訪問が続いています。

今回は台湾・新北市立漳和國民中學を大仙市にお迎えし、大曲中学校の生徒や教職員と交流を行います。1月29日から2月1日まで3泊4日の日程で来訪し、生徒との授業交流や地元住民との食文化交流、雪国ならではのスキー体験などを行います。本事業を通して多様な文化・習慣の違いを感じたり受け入れたりすることで学び合い、グローバルな視点で世界を舞台に活躍できる人材の育成につながることを期待しています。

教育指導課分の説明は以上です。

伊藤教育長

続いて、生涯学習課長をお願いします。

生涯学習課長

次のページを御覧ください。

生涯学習課からは、「市民が主役のまちづくり講座『大仙アカデミー』」につい

て御説明いたします。

今年度第3回となる今回の講座ですが、市民部生活環境課と連携しての開催となります。詳細は囲みの部分となります。

令和8年1月28日(水)午後2時から大曲市民会館小ホールを会場に開催いたします。当日は、エネルギーまちづくり社代表取締役で、東北芸術工科大学デザイン工学部建築・環境デザイン学科教授の竹内昌義さんを講師としてお迎えし、快適で健康的な暮らしと省エネを同時になえる「断熱」の重要性について、これまで竹内さんが手がけられた国内外のさまざまなプロジェクトの紹介を交えて御講演いただきます。定員は300人、参加申し込みは二次元コードによるオンライン申請か、窓口となります市民部生活環境課へ直接お電話いただいてもお受けいたします。今回の講演では、建物の断熱を通じて得られる経済性・快適性・健康面などのメリットについて考える貴重な機会となります。入場無料となりますので、ぜひ委員の皆様にも御参加いただけたらと思います。

生涯学習課からの説明は以上となります。

伊藤教育長

ありがとうございました。

ただいまの説明について、委員の皆様からご質問等ございませんでしょうか。

伊藤晴通委員

1ページ目の台湾との交流ですけれども、もしこの最中に有事が発生した場合にはということは想定されていますでしょうか。

教育指導課長

最近の情勢から言うと、そういうことは十分想定されると思いますが、こちらの方では、その有事の際の対応ということはまだ想定しておりません。

これからそういった視点も含めて事業を進めていきたいと思います。

御指摘ありがとうございました。

伊藤晴通委員

ありがとうございます。

もう1つ、大仙アカデミーですが、断熱ということですね、心配ないとは思いますが、先日テレビを見ていましたら、アスベストがですね、私、時代的に撤去が終わるのかなと思っていましたら、民間で実は色々なところに使われているということがわかって、解体作業がストップしたりしているところがあるみたいなんです。

断熱ということに関すると、そういったものを使うという風なイメージがあるんですけれども、簡単に言うと大丈夫なのでしょうねということです。

以前、自宅を増築した時に、断熱材がいっぱい使われていて、これが例えば

粉塵になって飛び散った場合に大丈夫なのかなと思ったりしました。アスベストではないと思うんですけど、そういったアスベストの問題も、何十年も経ってから有害であることがわかったわけですね。ですから、そういったものの、もし断熱材を使うという発想であれば、そういった材料に対する懸念とかは払拭されているのかというのを、もし可能であればある程度調べていただければと思います。

生涯学習課長

はい。ありがとうございます。

この竹内さんからの講演の内容につきましては、まだ資料もいただいでなくてですね、具体的な中身の部分までは存じ上げませんが、いずれその断熱材を使うというような話はおそらく出てくるかと思います。アスベストとかそういう部分については、当然、以前からそういった問題がありまして、そうした部分は当然考慮した内容かとは思いますが、いずれ、今、国の方で住宅を建てる際の環境に配慮した建物の基準というものが2030年に、これまでよりもさらに環境に配慮した住宅を建築する必要があるが出てくる、建物の基準が定められるというようなお話もありましたので、そうした部分が主な講演の内容になるかと思っています。断熱の素材など今いただいたお話に関しては、これから竹内さんと講演に向けた打ち合わせを何回か行いますので、その際に確認してみたいと思います。

ありがとうございます。

伊藤教育長

はい。ありがとうございました。

両方の内容について、本日委員からいただいた内容を踏まえて、この後の対応をお願いします。

ほかには何かございませんか。

いずれアカデミーも台湾の方も、もし興味がありましたら、ぜひ足を運んでいただければと思います。こちらできちっと手配しますので、担当の方に連絡をお願いいたします。

それではよろしいですか。

各委員（特になし）

伊藤教育長

よろしいでしょうか。

それでは、その他この機会に委員の皆様から何かございませんでしょうか。

各委員（特になし）

伊藤教育長

よろしいでしょうか。

では、教育総務課から次回の日程等についてお願いします。

教育総務課長

次回定例会は、1月23日（金）午後3時30分から、こちら大会議室で開催いたしますので、御都合方よろしく願いいたします。

伊藤教育長

次回定例会は、1月23日（金）午後3時30分から、ここ大会議室にて開催、としての提案です。皆様、よろしいでしょうか。

各委員（特になし）

伊藤教育長

では、次回定例会は、そのように予定いたしますので、よろしく願いいたします。

本日の日程は、全て終了いたしました。以上で、定例会を閉じます。

ありがとうございました。お疲れ様でした。